

令和元年度 基本評価調書

| | | | | | | | |
|-----|----------|------|---------------|-------|---------------------|-------|---------|
| 施策名 | アイヌ文化の振興 | 所管部局 | 環境生活部 | 作成責任者 | アイヌ政策監 長橋 聡 | 施策コード | 03 - 13 |
| | | 照会先 | アイヌ政策課 24-133 | 関係課 | 環境生活部アイヌ政策推進局アイヌ政策課 | | |

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

| 政策体系 | 大項目(分野) | | 中項目(政策の柱) | | 小項目(政策の方向性) | | 総合計画の指標 |
|-----------|---------------------------|----------|-----------|------------------|-------------|-------------------------------|---------|
| | 3 | 人・地域 | (4) | ふるさとの歴史・文化の発信と継承 | A | 北海道独自の歴史・文化の発信と次代への継承 | — |
| 北海道創生総合戦略 | A3812、A4211 | 北海道強靱化計画 | | | 知事公約 | C0058、C0072、C0073、C0074、C0076 | |
| 特定分野別計画等 | アイヌ文化の振興等を図るための施策に関する基本計画 | | | | | | |

1 目標等の設定

| | | | |
|-------|---|------|--|
| 現状と課題 | <p>・アイヌの人たちは長い歴史の中で民族として独自の伝統や文化を培ってきたが、伝承者の高齢化などからアイヌ語やアイヌ文化の継承・保存が急がれる状況にあることから、アイヌ文化を次世代に継承することができるよう、その保存・伝承を促進し、アイヌ文化の一層の振興を図るとともに、道民への理解の促進を図る施策を推進する必要がある。</p> | 施策目標 | <p>・アイヌ文化の保存・伝承を促進し、アイヌ文化の振興を図るとともに、アイヌの人たちの伝統や文化に関する理解の促進に取り組む。 ・国が整備する「ウボボイ(民族共生象徴空間)」が2020年(令和2年)に公開されることや、東京オリンピック・パラリンピック競技大会などを契機にしながら、アイヌ文化の発信を強化する。</p> |
|-------|---|------|--|

| 施策の 推進体制 (役割・取組等) | 政策体系 | 役割等 | 政策体系 | 役割等 | 施策の予算額 | |
|-------------------------|-------|--|------|-----|--------|---------|
| | 3(4)A | 【アイヌ文化の保存・伝承、理解促進、発信強化】 〔国〕①アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターとなる「象徴空間」の整備②「イランカラブテ」キャンペーンなど関係機関・団体等と連携した取組及び独自の取組③自治体の取組への支援(アイヌ施策推進法による市町村の文化振興への交付金) 〔道〕①象徴空間の一般公開に向けた機運醸成、誘客促進②象徴空間を核としたアイヌ文化発信の方策検討③東京オリンピック・パラリンピック開会式などでのアイヌ文化の紹介についての国などへの要請④「イランカラブテ」キャンペーンなど関係機関・団体等と連携した取組及び独自の取組 〔市町村〕①象徴空間を核としたアイヌ文化発信の方策検討②「イランカラブテ」キャンペーンなど関係機関・団体等と連携した取組及び独自の取組 〔関係団体〕①象徴空間を核としたアイヌ文化発信の方策検討②東京オリンピック・パラリンピック開会式などでのアイヌ文化紹介に向けたアイヌ古式舞踊の統一演目の作成、踊り手の育成等③「イランカラブテ」キャンペーンなど関係機関等と連携した取組及び独自の取組 | | | H29 | 434,055 |
| | | | | | H30 | 804,951 |
| | | | | | R1 | 766,916 |

| 今年度の取組 | 政策体系 | 今年度の取組 | 政策体系 | 今年度の取組 |
|--------|-------|--|------|--------|
| | 3(4)A | 【アイヌ文化の保存・伝承、理解促進、発信強化】 ○象徴空間の着実な整備に向け、市町村・関係団体と連携し国への要請などを行う。 ○象徴空間の一般公開に向けた道内外の機運醸成、国内外からの誘客促進を図る。 ○オリンピック開会式等での文化発信に向けて、(公社)北海道アイヌ協会が行う各地域の舞踊や音楽など、統一した舞踊等の作成などの取組を支援。 ○(公財)アイヌ民族文化財団が行うアイヌ文化振興のための事業に対する補助を行う。 ○アイヌ総合センターを運営する(指定管理)。 ○「イランカラプテ」キャンペーンの推進を行う。 ○フォーラムの開催などによるアイヌ文化の発信を行う。 | | |
| | | | | |
| | | | | |

前年度付加意見への対応状況(平成31年3月末時点)

<意見区分； 施策目標の達成状況・事務事業の有効性>

| | 事務事業整理番号 | 事務事業名 | 前年度付加意見 | 各部局の対応(平成31年3月末時点) |
|------------|----------|---------------------|---|---|
| 施策 事務事業 | 1015 | 民族共生象徴空間誘客促進・地域連携事業 | 「ふるさとの歴史・文化の発信と継承」の推進に向け、アイヌ文化や縄文遺跡など北海道独自の歴史・文化について、北海道の「価値」として道民全体が共有し、国内外に北海道ブランドとして発信する環境整備をするため、道民が学ぶ・体験する機会等に関する取組を着実に推進できるように検討すること。 | 引き続き、道内での象徴空間開設PRキャラバンにおいて、アイヌの歴史・文化を啓発するとともに、アイヌ文化が体験できる機会を提供するなど、道民が学ぶ・体験する機会等に関する取組を推進する。(象徴空間誘客促進・地域連携事業) |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

<事務事業評価 意見区分； 前年度評価結果への対応など>

| | 事務事業整理番号 | 事務事業名 | 前年度付加意見 | 各部局の対応(平成31年3月末時点) |
|------|----------|--|---|--|
| 事務事業 | 1012 | アイヌ民族文化財団事業費補助金(H30事業名:アイヌ文化振興・研究推進機構事業費補助金) | アイヌ政策を総合的に推進するため、国が主体となった施策のより一層の推進はもとより、国の負担割合の引き上げ等必要な財源措置を求めること。 | 従来より、国費要望の中で国の負担割合の引き上げを要請しているところであり、引き続き、機会を捉えて国に必要な財源措置を求めていく。 |
| | | | | |

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

| 政策体系 | 実績と成果等 | 関連する計画等 | | | 備考 |
|-------|--|---------------|--------------|-------------------------|----|
| | | 北海道 創生総合戦略 | 北海道 強靱化計画 | 知事公約 | |
| 3(4)A | ・ウポポイ(民族共生象徴空間)の整備や、東京オリンピック・パラリンピック開会式などでのアイヌ文化の発信については、国に対し「国の施策及び予算に関する提案・要望」などのほか、様々な機会を捉えて要望しており、2020年(令和2年)の一般公開に向けて、国において着実に進められている。 | - | - | C0058 C0073 | |
| 3(4)A | ・アイヌ民族文化財団事業費補助金により、アイヌ施策推進法に基づく国の指定をうけたアイヌ民族文化財団(旧:アイヌ文化振興・研究推進機構)が実施する事業に補助し、アイヌ語指導者育成やアイヌ語の普及を目的とした弁論大会、アイヌ文化活動アドバイザー派遣などアイヌ文化の振興、小中学生向けの副読本の作成やイランカラブテキャンペーンなどの普及啓発等を行った。 | - | - | C0058 C0074 | |
| 3(4)A | ・道立アイヌ総合センターを運営することにより、広く一般に対し、アイヌの人たちの歴史認識や文化の伝承、保存などに関し理解の促進を図った。 ・教育庁が実施するアイヌ文化保存対策・アイヌの歴史等に関する教育や文化振興課が行うアイヌ文化の情報発信などと連携し、アイヌの人たちの文化振興等を図った。 | - | - | C0058 C0074 | |
| 3(4)A | ・イランカラブテキャンペーン推進協議会の一員として、国や関係機関、民間企業と連携してキャンペーンを展開し、道においては、期間限定でキャンペーンイメージソングを道庁本庁舎及び各(総合)振興局において庁内放送するなど、イランカラブテを北海道のおもてなしのキーワードとして普及させ、道民や本道を訪れる方がアイヌ文化への興味・関心を持つためのきっかけづくりを行った。 ・平成30年度に養成したサブリーダーが地域のリーダー等と連携協力し、開会式等での披露に向け、統一かつ魅力的な演説となるよう、地域の各保存会会員等に対して実技指導を行っている。 | A4211 | - | C0058 C0074 | |
| 3(4)A | ・アイヌ工芸品等の販路拡大に向けた調査事業において、アイヌ工芸品等の認知度向上や販路拡大、人材育成、担い手の確保等に向けた現状と課題を把握。 | A3812 | - | C0058 C0076 | |
| 3(4)A | ・ウポポイ開設PRイベント(道内:札幌市(R1.8)、旭川市(R1.11)、函館市(R1.11)、新千歳空港(R2.1)、道外:名古屋市(R1.9)、東京都(R1.10)、大阪市(R1.11))など、アイヌ文化の振興を図るためのイベントを開催。 ・経済部と連携し、北米・ハワイ、アジア、イギリスにおいて、アイヌ文化の魅力発信するとともにウポポイのPRを実施。 ・北海道博物館において、ウポポイ開設のPR及びアイヌ文化理解促進のための特別展(アイヌ語地名と北海道)を開催。 ・庁内各部の関係課に対し、ウポポイ開設に向け、様々な手法による積極的なPRについて協力を依頼。 | - | - | C0058 C0072 C0074 | |

(2) その他の取組の成果等

| | | | |
|-----------|---|--------------------|---|
| 国等要望・提案状況 | <p>「国の施策及び予算に関する提案・要望」により内閣官房、関係省庁に「ウポポイ(民族共生象徴空間)の安定した管理運営体制の整備及びアクセス機能の強化」や、「総合的なアイヌ施策を推進するため、生活向上や文化振興施策に加えて、地域の活性化や産業・観光振興など、新たな法律に基づき、円滑かつ効果的な推進を図ること」や「アイヌ政策推進交付金を十分に確保し、市町村が利用しやすいよう柔軟な運用を図ること」、「国民理解を図るための啓発活動」などについて要望。(令和元年7月)</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に開会式等でのアイヌ文化発信について要望。(令和元年7月)</p> | <p>施策に関する道民ニーズ</p> | <p>・アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会報告の政策展開に当たっての基本的な理念として「民族共生」という理念は、国際的にも追求されているものであり、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し合う共生的かつ多層的な社会を目指す我が国においても、国民がこの理念を共有する必要がある。国民一人ひとりが、自分たちも一民族であると認識するとともに、アイヌという独自の先住民族が国内に生活していることを認識し、尊重できるようになることが求められている。(*)とされており、アイヌ文化の振興とアイヌの伝統等に関する理解の促進を図ることが必要。</p> <p>*「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会報告書(平成21年7月)」</p> <p>・「アイヌ政策を考える懇談会(平成30年2月)」においてアイヌ語などアイヌ文化の振興を図るよう意見があった。</p> <p>・これらの意見を踏まえて、令和元年7月、国に対し、アイヌ施策推進法に基づく必要な財源措置を含む、国が主体となった総合的な施策の円滑かつ効果的な推進を要望した。</p> |
|-----------|---|--------------------|---|

令和元年度 基本評価調書

| | | | |
|-----|----------|-------|---------|
| 施策名 | アイヌ文化の振興 | 施策コード | 03 - 13 |
|-----|----------|-------|---------|

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

(1) 施策間・部局間の連携

| 政策体系 | 連携内容 | 連携先 | | 取組の実績と成果 |
|-------|--|-------------------------|-------------------------|--|
| | | 施策コード | 関係部・関係課 | |
| — | アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重される社会を実現するため、庁内に「アイヌ施策推進連絡会議」を設置し、アイヌ文化の振興及びアイヌの伝統等に係る理解の促進に関することやアイヌの人たちの生活向上に関する協力を協議し国費要望に反映させていく。 | — | 各部・教育庁代表(企画担当)課 | ・令和2年度の国費予算要望の取りまとめを行うとともに、アイヌ政策を取り巻く最近の動向に関して情報提供などを行った。 |
| — | 経済部とも連携して海外プロモーションを実施し、道産品のPRの場において、アイヌ文化の魅力発信を行うとともに、北海道博物館において、「ウポポイ(民族共生象徴空間)」の開設機運の醸成及びアイヌ文化の理解促進のための特別展を開催 | — | 経済部国際経済室 | ・経済部と連携し、北米・ハワイ、アジア、イギリスにおいて、道産品とあわせてアイヌ文化の魅力を発信するとともにウポポイのPRを実施。 ・北海道博物館において、ウポポイ開設のPR及びアイヌ文化理解促進のための特別展(アイヌ語地名と北海道)を開催。 |
| — | | — | 文化振興課(北海道博物館) | |
| — | 庁内関係課による「象徴空間整備等促進検討会議」の設置や、関係部の主幹に兼務発令を行い、国が整備する「ウポポイ(民族共生象徴空間)」に関して、道の各部の横断的な連携の下、必要な事項について協議。 | — | 総合政策部交通企画課 | ・庁内各部の関係課に対し、ウポポイ(民族共生象徴空間)の整備状況など、国の取組に関する情報提供を行ったほか、ウポポイ開設に向け、様々な手法による積極的なPRについて協力を依頼した。 |
| — | | 総合政策部地域戦略課 | | |
| — | | 環境生活部文化振興課 | | |
| — | | 環境生活部オリンピック・パラリンピック連携室 | | |
| 0505 | | 経済部観光局 | | |
| — | | 水産林務部道有林課 水産林務部漁業管理課 | | |
| — | | 建設部道路課 建設部都市環境課 | | |
| — | | 教育庁文化財・博物館課 | | |
| 3(4)A | 「アイヌ文化の振興等を図るための施策に関する基本計画」に基づき、関係部局とともに、文化振興施策の推進に取り組んでいる。 | 1110 | 教育庁教育政策課、義務教育課、文化財・博物館課 | ・教育庁が実施するアイヌ文化保存対策・アイヌの歴史等に関する教育や文化振興課が行うアイヌ文化の情報発信などと連携し、アイヌの人たちの文化振興等を図った。 |
| — | | 0314 | 環境生活部文化振興課 | |
| — | | | | |

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

| 連携内容 | 連携先 | 取組の実績と成果 |
|--|--|--|
| <p>「アイヌ文化情報発信ネットワーク会議」</p> <p>アイヌの人たちの歴史や文化などに関する道民の理解を促進するため、道と企業、関係団体などが情報を共有しながら、連携によるアイヌ文化の情報発信に向けた取組について検討を行う。</p> | <p>内閣官房アイヌ総合政策室北海道分室、北海道運輸局、道内関係市町村、大学、博物館、関係団体、31の民間企業</p> | <p>・2020年(令和2年)4月のウポポイ(民族共生象徴空間)開設に向けて設立された「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク会議」と構成団体が重複するため、同会議の場を活用し、アイヌ文化の情報発信、ウポポイへの誘客促進に向けた取組、各構成団体による普及啓発事業等の情報共有を行った(平成30年5月「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク企画部会・活性化部会」及び「アイヌ文化情報発信ネットワーク会議」合同会議)。</p> |
| <p>「イランカラブテキャンペーン」</p> <p>アイヌ文化等の普及啓発をより一層推進するため、平成25年度から平成27年度の3年間を重点期間とし、民間企業や行政機関、学術機関等の連携により、アイヌ語のあいさつ「イランカラブテ」(「こんにちは」の意)を、「北海道のおもてなし」のキーワードとして普及させるキャンペーンを展開。平成28年度以降も継続展開中。</p> <p>キャンペーンの推進は、国、自治体等、学術機関、アイヌ関係団体により構成する「イランカラブテ」キャンペーン推進協議会が担い、キャンペーンに賛同いただく民間企業や一般の方々にはサポーターとしての参画を募り、裾野を広げる。</p> | <p>国(内閣官房アイヌ総合政策室、経済産業省北海道経済産業局、国土交通省北海道運輸局、国土交通省北海道開発局)</p> <p>市町(札幌市、白老町、平取町)、大学(国立大学法人北海道大学アイヌ・先住民研究センター、札幌大学)</p> <p>関係団体(NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、公益社団法人北海道アイヌ協会、公益社団法人北海道観光振興機構、公益財団法人アイヌ民族文化財団)、民間企業(北海道旅客鉄道株式会社、北海道空港株式会社)</p> | <p>・平成31年2月に、道も参画する「イランカラブテキャンペーン推進協議会」の構成団体のうち事務局である内閣官房アイヌ総合政策室の北海道分室とアイヌ民族文化財団と打合せを行い、キャンペーンに関して各構成団体が行った普及・啓発に向けた取組について情報共有を行った。</p> <p>・また、民間企業等の他の構成団体に対しては、平成30年11月開催の「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク総会」の場を借りて情報共有を行った。</p> |
| <p>「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」</p> <p>2020年のアイヌ文化の復興等のナショナルセンターとなる「ウポポイ(民族共生象徴空間)」の開設に向け、関係行政機関や関係団体、道内経済関係団体が一体となって、開設機運の醸成や100万人の来場者目標を掲げた象徴空間への誘客促進に取り組むとともに、道内各地のアイヌ文化振興の取組や食・観光等の地域の多様な魅力とつなぎ、国内外への総合的な情報発信を強化するなど、オール北海道で、アイヌ文化の創造発展と道内経済の活性化・地域創生の好循環を図ることを目的とする。</p> | <p>国、14の関係市町村、23の関係団体、94の民間企業</p> | <p>・平成30年5月「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク企画部会・活性化部会」及び「アイヌ文化情報発信ネットワーク会議」合同会議、平成30年11月に総会を開催し、アイヌ文化の情報発信、ウポポイへの誘客促進に向けた取組、各構成団体による普及啓発事業等の情報共有を行った。</p> |
| <p>「民族共生象徴空間」開設準備支援プロジェクトチーム</p> <p>「民族共生象徴空間」の来場者目標100万人の実現に向けて、魅力ある事業展開やマネジメントの向上を図るため、国や関係団体、「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」に参画する各種ノウハウを有する民間企業等の協力を得ながら、民族共生象徴空間の開設準備を支援する官民一体となったプロジェクトチームを設置し、検討結果を国の「運営主体」などに反映させる。</p> | <p>内閣官房アイヌ総合政策室北海道分室、民間企業(北海道新聞社、北洋銀行)</p> | <p>・平成29年7月に設置した「民族共生象徴空間開設準備支援プロジェクトチーム」において、効果的な広報に向けた調整を行い、ウポポイ(民族共生象徴空間)の運営主体であるアイヌ民族文化財団の取組に反映させたほか、企業間による独自事業やメディアを活用したPRなどを実施している。</p> |

令和元年度 基本評価調書

| | | | |
|-----|----------|-------|---------|
| 施策名 | アイヌ文化の振興 | 施策コード | 03 - 13 |
|-----|----------|-------|---------|

| | |
|--------------------------------|-----------------|
| Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) | Do & Check 施策評価 |
|--------------------------------|-----------------|

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

| | | | | | | |
|---|-------------|--------|-----------------|----------------|-------|------|
| ● 本施策に成果指標を設定できない理由 | ● 達成度合について | | | | | |
| アイヌ語やアイヌ文化の継承・保存等を端的に測ることのできる数値等がないことから、指標の設定は困難。 | 達成度合 | A | B | C | D | - |
| | 直近の成果指標の達成率 | 100%以上 | 90%以上 100%未満 | 80%以上 90%未満 | 80%未満 | 算定不可 |

令和元年度 基本評価調書

| | | | | | |
|-----|----------|-------|----|---|----|
| 施策名 | アイヌ文化の振興 | 施策コード | 03 | — | 13 |
|-----|----------|-------|----|---|----|

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式1)

4 事務事業の設定

| 整理番号 | 政策体系 | 事務事業名 | 事務事業概要 | 課・局 室名 | 前年度からの繰越事業費(千円) | 令和元年度 | | | | | フルコスト(千円) |
|------|-------|---------------------|--|-----------|-----------------|---------|---------|------|------|-----|-----------|
| | | | | | | 事業費(千円) | うち一般財源 | 執行体制 | | | |
| | | | | | | | | 本庁 | 出先機関 | 人工計 | |
| 1009 | 3(4)A | アイヌ協会補助金 | アイヌの人たちの社会的・経済的地位の向上を図るため、(公社)北海道アイヌ協会が実施する事業に対して行う補助に関する業務 | アイヌ政策課 | | 35,113 | 35,113 | 0.7 | 0.0 | 0.7 | 40,692 |
| 1012 | 3(4)A | アイヌ民族文化財団事業費補助金 | アイヌ文化振興法に基づき設置された(公財)アイヌ民族文化財団の補助に関する業務 | アイヌ政策課 | | 303,109 | 303,109 | 2.3 | 0.0 | 2.3 | 321,440 |
| 1013 | 3(4)A | アイヌ文化等の情報発信に関する事務 | 民間企業や関係団体等と連携して、アイヌ文化等に関する道民の理解を促進するためのフォーラムや、アイヌ文化の情報発信のあり方について検討する会議の実施、運営 | アイヌ政策課 | | 0 | 0 | 0.3 | 0.0 | 0.3 | 2,391 |
| 1014 | 3(4)A | アイヌ総合センター管理運営費 | 道立アイヌ総合センターの指定管理に関する業務 | アイヌ政策課 | | 12,059 | 12,059 | 0.4 | 0.0 | 0.4 | 15,247 |
| 1010 | 3(4)A | アイヌ政策課総合調整等業務 | 道議会事務、旧土人保護法及びアイヌ文化振興法附則に関する事務、国連宣言や国会決議に関する事務、予算決算等室内の庶務に関する事務全般及びアイヌ施策推進室内の事務の処理に関する事務 | アイヌ政策課 | | 0 | 0 | 0.3 | 0.0 | 0.3 | 2,391 |
| 1015 | 3(4)A | 民族共生象徴空間誘客促進・地域連携事業 | 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に合わせた民族共生象徴空間の一般公開に向け、道内外の気運醸成を図るとともに、インバウンドなど国内外からの誘客促進を図るための業務 | アイヌ政策課 | | 416,635 | 210,147 | 3.0 | 0.0 | 3.0 | 440,545 |
| 計 | | | | | 0 | 766,916 | 525,315 | 7.0 | 0.0 | 7.0 | 822,706 |

令和元年度 基本評価調書

| | | | |
|-----|----------|-------|---------|
| 施策名 | アイヌ文化の振興 | 施策コード | 03 - 13 |
|-----|----------|-------|---------|

Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部局等による評価)

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

| 政策体系 | 達成度合の集計 | | | | | 判定 | 成果指標の分析 |
|------|-------------|----------------------|---------------------|------------|-----------|----|---------|
| | A 100%以上 | B 90%以上 100%未満 | C 80%以上 90%未満 | D 80%未満 | - 算定不可 | | |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | |

(2)取組の分析

| 基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの) | | 対応している (○あり→対応している) | 対応しているとする理由 |
|---|--|------------------------|---|
| 1 | 計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか | ○ | ・当該施策の基本となる「アイヌ文化の振興等を図るための施策に関する基本計画」に掲げる各種推進施策に有効な取組を行っていることが確認できる。 |
| 基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる) | | 取組がある (○あり→取組がある) | 取組があるとする理由 |
| 2 | 施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか | ○ | ・要望書の提出や各種会議への参加により、国が主体となった象徴空間の整備などが着実に推進されている。 |
| 3 | 道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立てているか | ○ | ・毎年1回は知事主催の「アイヌ政策を考える懇談会」を開催して、アイヌの人たちや有識者とアイヌ施策に関する意見交換やニーズの把握などを行い、施策への反映に努めている。 |
| 4 | 施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか | ○ | ・文化振興施策を推進するため、関係部課と連携して、アイヌ文化保存対策・アイヌの歴史等に関する教育やアイヌ文化の情報発信を実施している。 |
| | 施策の推進に当たり、地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか | ○ | ・企業や関係団体などと情報を共有しながらアイヌ文化の情報発信を実施している。 ・民族共生象徴空間の開設に向けて、関係行政機関や関係団体、経済関係団体などが一体となって開設機運の醸成や誘客促進に取り組むとともに、道内各地のアイヌ文化振興の取組や食・観光等の地域の多様な魅力とつなぐ情報発信を行うなど、アイヌ文化の創造発展と道内経済の活性化・地域創生の好循環に取り組んでいる。 |
| 判 定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b) | | | a |

(3)総合評価と対応方針等

| 成果指標の分析 | | 取組の分析 | 総合評価 | | | 関連する計画等 | | |
|---------|-------|---|-------------------|----------|-------|----------------|----------|---|
| 判定(計) | | 判定 | | | | | | |
| - | | a | 効果的な取組を検討して引き続き推進 | | | | | |
| 対応方針 | | | 関連する事務事業 | | | 関連する計画等 | | |
| 対応方針番号 | 政策体系 | 内容 | 方向性 | 事務事業整理番号 | 事務事業名 | 北海道創生総合戦略 | 北海道強靱化計画 | 知事公約 |
| ① | 3(4)A | ○2020年(令和2年)4月に開設する民族共生象徴空間の機運醸成や誘客促進を図るため、関係機関と連携し、道内外で象徴空間やアイヌ文化のPRを行うとともに、東京オリンピック・パラリンピック開会式等におけるアイヌ文化の発信に向け、パフォーマンスの検討や実施体制の整備などの準備を進める。 | | | | A3812 A4211 | - | C0058 C0072 C0073 C0074 C0076 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

前年度付加意見への対応状況(事務事業)

| 事務事業整理番号 | 事務事業名 | 前年度付加意見 | 各部署の対応(評価時点) |
|----------|-----------------|---|--|
| 1012 | アイヌ民族文化財団事業費補助金 | アイヌ政策を総合的に推進するため、国が主体となった施策のより一層の推進はもとより、国の負担割合の引き上げ等必要な財源措置を求めること。 | 従来より、国費要望の中で国の負担割合の引き上げを要請しているところであり、引き続き、機会を捉えて国に必要な財源措置を求めていく。 |
| | | | |

Check 施策評価・事務事業評価 二次政策評価結果(知事による評価)

6 二次政策評価結果(知事による評価)

<意見区分： 施策目標の達成状況・事務事業の有効性>

| | 対応方針 番号 | 事務事業 整理番号 | 事務事業名 | 付加意見 |
|------------|------------|--------------|-------|------|
| 施策 事務事業 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

<事務事業評価 意見区分： 前年度評価結果への対応など>

| | 対応方針 番号 | 事務事業 整理番号 | 事務事業名 | 付加意見 |
|------|------------|--------------|-----------------|---|
| 事務事業 | I | 1012 | アイヌ民族文化財団事業費補助金 | アイヌ施策推進法の施行を踏まえ、国及び道の役割分担の整理を行った上で必要となる見直しや、事業効果の検証を踏まえた事業費の精査を国に対し求めること。 |
| | | | | |

Action 施策・事務事業評価

7 評価結果の反映

(1) 一次評価結果への対応

| 対応方針番号 | 対応 | 事務事業 |
|--------|---|-------------------------|
| ① | <p><新たな取組等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウポボイ開設プロモーションとして、アイヌ文化の振興を図るためのイベントを開催する。(R1年度実績) 道内: 札幌市(R1.8(来場者数6,950人)) 旭川市(R1.11(来場者数5,527人)) 函館市(R1.11(来場者数6,034人)) 新千歳空港(R2.1(来場者数4,810人)) 道外: 名古屋市(R1.9(来場者数9,259人)) 東京都(R1.10(来場者数8,631人)) 大阪市(R1.11(来場者数6,627人)) <ul style="list-style-type: none"> ・経済部とも連携して海外プロモーションを実施し、道産品のPRの場において、アイヌ文化の魅力発信を行う。(R1年度実績: 北米、ハワイ、台湾、中国、ASEAN(ベトナム、タイ、シンガポール)、イギリス、カナダにて実施。) ・東京オリンピック・パラリンピック開会式等におけるアイヌ文化の発信に向け、(公社)北海道アイヌ協会が進める演舞作成や踊り手育成に係る経費への補助を行い、準備を進める。 | 改善: 民族共生象徴空間誘客促進・地域連携事業 |

(2) 二次評価結果への対応(付加意見への対応状況)

<事務事業評価 意見区分: 前年度評価結果への対応など>

| | 対応方針番号 | 事務事業整理番号 | 事務事業名 | 各部署の対応(令和2年3月時点) |
|------|--------|----------|-----------------|--|
| 事務事業 | I | 1012 | アイヌ民族文化財団事業費補助金 | 国費要望の中で、アイヌ施策推進法の施行を踏まえ、国が主体となり、事業の一層の推進を図るとともに、適正な負担割合に基づく国の負担の引き上げを行うことを要請しているところであり、引き続き、機会を捉えて国に必要な財源措置を求めていく。 |

(3) 事務事業への反映状況

| 方向性 | 拡充 | 改善 | 縮小 | 統合 | 廃止 | 終了 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|
| 反映結果 | | | | | | | 0 |

| 次年度新規事業(予定) |
|-------------|
| 1 |

| 整理番号 | 事務事業名 | 一次政策評価における方向性(再掲) | 次年度の方向性(反映結果) |
|------|-------|-------------------|---------------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |